



青梅市青少年友好親善使節団姉妹都市ポッパルト市訪問帰国報告



第17回青梅市青少年友好親善使節団（団長・野島青梅市議会副議長）12人が、8月8日から17日まで姉妹都市ポッパルト市を訪問しました。団員は、ポッパルト市の家庭にホームステイをしながら、交流プログラムに沿って親善交流を深めました。

問い合わせ 秘書広報課交流担当

主な交流プログラムと団員メモ

8月8日 ポッパルト市到着・歓迎のあいさつ

フランクフルト空港からバスに乗り、ライン川沿いの古城を見ながらポッパルト市へと向かいました。

ポッパルト市では多くの方々に笑顔で出迎えていただき、ホームステイの不安が和らぎました。



8月9日 市内めぐり・公式歓迎会

ガイドさんのお話を聞きながら市内を散策しました。美しい街並みに感動し、ポッパルトで過ごす日々がますます楽しみになりました。

午後に行われたポッパルト市による公式歓迎会では、練習したドイツ語で自己紹介しました。

8月10日 マルクスブルク城・消防ボートでライン下り



マルクスブルク城では、中世騎士時代のまま残っている城塞や鎧等を間近で見ることができ、歴史の重みを感じられました。

午後には、ライン川を消防ボートで下りました。川から見るポッパルト市は、また違った美しさがあり、つい見とれてしまいました。

8月11日 ハイキング・ボランティア消防団による救助訓練体験・午後フリータイム

電車でフレカスフォーへ駅へ行き、ライン川が5つに見える塔までハイキングしました。到着後に行われたボランティア消防団による救助訓練では、塔の最上部からロープを使っての脱出訓練を体験するなど、消防団の高度な技術を実感することができました。



8月12日 フリータイム

ホストファミリーの皆さんと充実した1日を過ごしました。

8月13日 エーレンブライトシュタイン要塞・コブレンツ市街地でのショッピング

高台にあるエーレンブライトシュタイン要塞からは、ライン川とモーゼル川が合流するドイチェスエック（ドイツの角）が見え、2つの川の色の違いがよくわかりました。



また、コブレンツ市街地では、ポッパルト市の皆さんとショッピングを楽しみました。

8月14日 カントギムナジウム訪問・バイオガス施設見学・友好の夕べ（歓迎パーティ）

カントギムナジウムの校長先生や生徒の皆さんによる歓迎会があり、同世代交流を行いました。

その後、恒例となっている姉妹都市公園に自分の名前を書いた多摩川の石を置きました。

午後は、市内にあるバイオガス施設を見学しました。環境先進国ならで

青少年友好親善使節団派遣報告会



滞在中の経験や学んだことを団員たちが発表します。ぜひお越しください。

日時 10月2日（火）午後7時～9時

会場 市役所2階204～206会議室

入場無料

直接会場へ

はこの取り組みに感心させられました。

ライン川沿いのカヌークラブで行われた友好の夕べでは、事前研修で練習した書道パフォーマンスと盆踊りを披露しました。また、よさこいソーランやドイツのダンスをポッパルトの皆さんと一緒に踊り、大変盛り上がりました。このパーティを通じて、ポッパルトの方々との距離が縮まりました。



8月15日 ケルン・ドイツ歴史博物館（ボン）

ケルン大聖堂は、至る所に繊細な彫刻やステンドグラスが施されており、差し込む日ざしに神々しさを感じました。



また、ボンにあるドイツ歴史博物館では、日本では見ることができないドイツの視点での歴史の捉え方を学ぶことができ、大変勉強になりました。

8月16日 送別式・ハイデルベルク



充実した日々はあっという間に過ぎ、帰国の日が来てしまいました。

多くのホストファミリーと一緒に訪れたハイデルベルクでは、最後の交流を楽しみました。

とうとうフランクフルト

空港に到着です。お世話になったホストファミリーの皆さんとお別れは、寂しい気持ちと感謝の気持ちがあふれ、涙が出てきてしまいました。

ポッパルトというすてきな街、すてきな人々と過ごした9日間、私達はとても幸せでした。

これからもポッパルト市の皆さんとの交流を続け、再びポッパルト市を訪れたいと思います。



姉妹都市ポッパルト市を訪問して

団長 青梅市議会副議長 野島資雄

このたび、私は、8月8日から17日まで、第17回青梅市青少年友好親善使節団の団長として、10名の青少年とともに姉妹都市であるドイツ・ポッパルト市を訪問しました。使節団の団長は、青梅市議会議員として初めてであり、私にとっても、これが初めての姉妹都市訪問になりました。

私を含め団員は、期待と不安の中での訪問となりましたが、ポッパルト市では、ベアシユ市長をはじめ市役所の職員や、ロース会長をはじめとするポッパルト・青梅友好協会の皆様方、ポッパルト市民の方々から、心のこもったおもてなしを受けました。特に、私のホームステイを引き受けていただいたロース会長には、公私ともに大変お世話になり感謝に堪えません。

私を含む団員は、ホームステイをすることでドイツの家庭や文化を肌で感じる事ができました。これも、姉妹都市交流ならではの貴重な体験ができたことと思います。

また、団員は、今回も中学生から大学生までの幅広い年齢層でありましたが、非常に明るく、年齢差を感じないまとまりのあるチームでした。

「友好の夕べ」のパーティでは、日本の練習の成果を発揮し、チーム一丸となったパフォーマンスを繰り広げ、会場を大いに盛り上げることができ、交流を深めることができました。

ポッパルト市で過ごした毎日、団員にとって生涯忘れられない、とても刺激的な日々でした。それだけにお世話になった皆様との別れはつらく、最後のフランクフルト空港では涙を流しながらのお別れとなりました。

今回は私にとって初めてのポッパルト訪問でありましたが、ポッパルト市職員や友好協会、そしてホストファミリーの皆様への心もったおもてなしに、半世紀にわたる両市の交流の深さを改めて感じる事ができた10日間でした。

参加した団員には、今回の感動と感謝の気持ちを忘れず、この経験を周囲の方々に伝え、両市の交流を担うリーダーとして活躍されることを心から期待しております。

